

教科	国語	学年	第2学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ことばと であおう	2	○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。 ○場面の様子に着目して、登場人物の様子を具体的に想像することができる。 ○読み聞かせを聞いて、内容や感想などを伝え合う活動ができる。 ○言葉のリズムの快さを読み味わい、イメージの広がりを楽しみながら音読しようとする。	○言葉から浮かぶイメージや、言葉の響きなどに気をつけて音読している。	○連ごとに対比される生き物たちの大小に着目して、それぞれの様子を具体的に想像している。 ○自分が音読したり、友達が音読するのを聞いたりして、内容や感想などを伝え合っている。	○言葉のリズムの快さを読み味わい、
ことばと であおう	4	○句読点の打ち方、かぎ(「 」)の使い方を理解して文や文章の中で使うことができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。 ○日記を書き、思ったことや伝えたいことを書く活動ができる。 ○今日したことや思ったことを日記に書き、毎日をふり返ろうとする。	○句読点の打ち方、かぎ(「 」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	○毎日のできごとの中で経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、日記に書いて、伝えたいことを明確にしている。 ○日記を書き、思ったことや伝えたいことを書く活動をしている。	○今日したことや思ったことを日記に書き、毎日をふり返っている。

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

声の 大きさを かんがえましよう。	3	○アクセントによる語の意味の違いなどに気づくとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すことができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫することができる。 ○紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動ができる。 ○その場の状況や場面によって、声の大きさを考えて話したり、音の調子で意味が違う言葉があることを確かめたりしようとする。	○アクセントによる語の意味の違いなどに気づくとともに、その場の様子に応じて、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	○伝えたい相手の数や、その場の様子に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。 ○伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたりしている。	○その場の状況や場面によって、声の大きさを考えて話したり、音の調子で意味が違う言葉があることを確かめたりしている。
一 どうじょう人物の した ことに 気をつけて よもう	13	○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。 ○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。 ○読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合う活動ができる。 ○伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫することができる。 ○話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。 ○紹介したいことを話したり、それらを聞いて感想を述べたりする活動ができる。 ○くまの子とくまのとうさんの行動や気持ちの動きを読みながら、このお話のおもしろいところをノートに書こうとする。	○「えいっ。」など、会話を中心に言葉の抑揚に気をつけて音読している。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	○くまの親子の行動や場面の様子など、内容の大体を捉えている。 ○場面の様子に着目して、くまの親子の行動を具体的に想像している。 ○「えいっ」を読んで、内容や感想などを伝え合っている。 ○「なるほど。」と言ったくまのとうさんについて話し合うとき、声の大きさや速さなどを工夫している。 ○話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように聞き、話し合っている。 ○紹介したいことを話したり、それらを聞いて感想を述べたりする活動をしている。	○くまのとうさんは、「えいっ。」を何回言い、どんなことが起きたか考えている。 ○くまのとうさんが最初に「えいっ。」と言ったときと最後に言ったときとでは、違っていることがあるか考えている。 ○くまの子とくまのとうさんの行動や気持ちの動きを読みながら、このお話のおもしろいところをノートに書いている。

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

大事な ことを おとさずに 聞きましょう。	2	○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えることができる。 ○尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合う活動ができる。 話し手が伝えたいことや大事な言葉は何かを、考えながら聞こうとする。	○絵から受ける情報と、それに関わる質問との関係について理解している。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	○話し手が知らせたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えている。 ○尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合う活動をしている。	○話し手が伝えたいことや大事な言葉は何かを、考えながら聞いている。
漢字の ひろば ①	2	○第2学年までに配当されている漢字を読むことや、文や文章の中で使うことができる。 ○漢字の書き方には決まった順序(書き順)があることを理解することができる。 ○漢字の「画」と「画数」や「書き順」についての理解を深め、漢字を正しく書こうとする。	○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。 ○漢字の書き順を理解して、正しい書き順で書いている。	○	○漢字の「画」と「画数」や「書き順」についての理解を深め、漢字を正しく書いている。
漢字の ひろば ①	2	○第一学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 ○絵の中の言葉を使って、一年生の時のことを明確にすることができる。 ○絵の中の言葉を使って、一年生の時のできごとを思い出して書く活動ができる。 ○40ページの絵の中の言葉と一年生で学んだ漢字をもとに、一年生の時のことを具体的に文章に書こうとする。	○一年生で習った漢字を使って、文や文章を書いている。	○絵の中の言葉を使って、一年生の時のことを明確にしている。 ○絵の中の言葉を使って、一年生の時のできごとを思い出して書いている。	○40ページの絵の中の言葉と一年生で学んだ漢字をもとに、一年生の時のことを具体的に文章に書いている。

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

二 じゅんじょに 気をつけて よみ, つながりを 見つけよう	13	○事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○時間的な順序や事柄の順序などを考えながら, 内容の大体を捉えることができる。 ○文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。 ○事物の仕組みを説明した文章を読み, わかったことや考えたことを述べる活動ができる。 ○語と語や文と文との続き方に注意しながら, 内容のまとまりがわかるように書き表し方を工夫することができる。 ○身近なことや経験したことを報告したり, 観察したことを記録したりするなど, 見聞きたことを書く活動ができる。 ○すみれとありの関わりを, 順序に気をつけて正しく読み, おもしろいな, 不思議だなと思ったことを文章に書こうとする。	○すみれのたねとありとの関係について理解している。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	○すみれがたねを飛ばす順序や, ありがそれを運ぶ順序などを考えながら, 内容の大体を捉えている。 ○順序に気をつけて読みながら, すみれの変わっていく様子やありのすることを, 語や文を考えて選び出している。 ○すみれのたねとありとの関わりを読み, わかったことや考えたことを話し合っている。 ○文と文との続き方に注意しながら, この説明文のおもしろいところ, 不思議なところについて, わかるように書き表し方を工夫している。 ○この説明文のおもしろいところ, 不思議なところについて書く活動をしている。	○筆者が「ふしぎに思ったこと」を, 42ページから見つけている。 ○すみれの変化とありの関わりについて, 順序に気をつけて表にまとめている。 ○すみれとありの関わりを, 順序に気をつけて正しく読み, おもしろいな, 不思議だなと思ったことを文章に書いている。
声に 出して 読み, リズムを楽しみましょう。	2	○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。 ○長く親しまれている言葉遊びを通して, 言葉の豊かさに気づくことができる。 昔から親しまれてきた「言葉あそび」を通して, 言葉のリズムや響きを楽しもうとする。	○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読を楽しんでいる。 ○長く親しまれている言葉遊びを通して, 言葉の豊かさに気づいている。		○昔から親しまれてきた「言葉あそび」を通して, 言葉のリズムや響きを楽しもうとしている。

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

かたかなで 書く 言葉	3	○片仮名を読み, 書くとともに, 片仮名で書く語の種類を知り, 文や文章の中で使うことができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○どのような言葉を片仮名で書くのかを理解し, 正しく使い分けようとする。	○片仮名を読み, 書くとともに, 片仮名で書く語の種類を知り, 文や文章の中で使っている。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。		○どのような言葉を片仮名で書くのかを理解し, 正しく使い分けしている。
三 本で しらべて しょうかいしよう	2	○読書に親しみ, いろいろな本があることを知ることができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。 ○学校図書館などを利用し, 読みたい本や調べたいことを書いた本を探し, 気がついたことなどを説明する活動ができる。 ○図書館での本の探し方を理解し, 図書館へ行って読みたい本をさがし, 図書館についてわかったことをまとめようとする。	○読書に親しみ, いろいろな本があることを理解している。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	○図書館で本を探すために必要な語や文をおさえて, 実際に生かしている。 ○学校図書館などを利用し, 読みたい本や調べたいことが書かれた本を探し, 気がついたことなどを説明する活動をしている。	○図書館での本の探し方を理解し, 図書館へ行って読みたい本をさがし, 図書館についてわかったことをまとめている。

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

三 本で しらべて しょうかい しよう	6	○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。 ○問題と答えとの関係について理解することができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。 ○自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。 ○身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動ができる。 ○身の回りの生き物について本で詳しく調べ、それをもとに「生きもののクイズ」を作ろうとする。	○生き物について詳しく調べることで語句の量を増やし、「生きもののクイズ」の中で使い、語彙を豊かにしている。 ○問題と答えとの関係について理解している。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	○クイズにしたい生き物について、必要な事柄を集めたり確かめたりして、「生きもののクイズ」を作っている。 ○問題の内容がわかりやすくなるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 ○「何が」「どうすると」「どうなるか」など、説明の内容がわかるように書き表し方を工夫している。 ○クイズにしたい生き物について、本で調べたことをもとにして「生きもののクイズ」に書く活動をしている。	○身の回りの生き物について本で詳しく調べ、それをもとに「生きもののクイズ」を作っている。
漢字の ひろば ②	2	○第2学年までに配当されている漢字を読むことや、文や文章の中で使うことができる。 ○言葉や漢字には仲間があることが理解できる。 ○言葉や漢字には仲間があることを知り、同じ仲間の漢字や反対の意味の漢字を集めたり、書いたりしようとする。	○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。 ○仲間の言葉の漢字や反対の意味を表す漢字があることを理解している。		○言葉や漢字には仲間があることを知り、同じ仲間の漢字や反対の意味の漢字を集めたり、書いたりしている。

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

うれしく なる 言葉	4	○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫することができる。 ○尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合う活動ができる。 ○友達のよいところやすてきなところを、言葉の表し方を工夫して、気持ちをこめて伝えようとする。	○言葉には、表現の仕方によって気持ちを伝える働きがあることに気づいている。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	○伝えたい事柄や相手に応じて、気持ちが伝わるような言い方を工夫している。 ○尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合う活動をしている。	○友達のよいところやすてきなところを、言葉の表し方を工夫して、気持ちをこめて伝えている。
------------	---	---	---	--	---

四 くりかえしに 気をつけて、とうじょう人物の 様子を 読もう	15	○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。 ○文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。 ○物語を読み、内容や感想などを伝え合う活動ができる。 ○想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。 ○文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけることができる。 ○感じたことや想像したことを書く活動ができる。 ○話の「くりかえし」に気をつけながら、場面の移り変わりとともに変わっていくきつねの様子や気持ちを想像しながら読み、好きな場面について自分の思いを書こうとする。	○会話文などに気をつけて音読している。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	○ひよこたちとの出会いに着目して、きつねの行動を具体的に想像している。 ○この話のきつねと自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 ○「きつねの おきゃくさま」を読んで、内容やきつねへの思いなどを伝え合っている。 ○きつねに対する思いや好きな場面について感じたことなど、伝えたいことを明確にしている。 ○書いた文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけている。 ○思ったことや感じたことを書く活動をしている。	○お話の繰り返しについて、できごとの順に確かめている。 ○場面によって変わっていく、きつねの考えたことをノートにまとめている。 ○話の「くりかえし」に気をつけながら、場面の移り変わりとともに変わっていくきつねの様子や気持ちを想像しながら読み、好きな場面について自分の思いを書いている。
--	-----------	--	--	---	---

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

いなばの しろさぎ	5	○昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむことができる。 ○「いなばの しろさぎ」の読み聞かせを聞き、おもしろいところを話し合ったり、昔から伝えられてきたほかの昔話を読んだりしようとする。	○昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。		○「いなばの しろさぎ」の読み聞かせを聞き、おもしろいところを話し合ったり、昔から伝えられてきたほかの昔話を読んだりしている。
おなじ ところや、ちがう ところを 見つけましょう。	4	○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。 ○自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。 ○観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動ができる。 ○今まで観察してきたことと同じところや違うところなど、気づいたことをもとに「かんさつ発見カード」を書こうとする。	○文の中における主語と述語との関係に気づき、文章を書いている。	○観察を通して気づいたことや発見したことから話題を見つけ、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 ○観察したことを記録するなど、「かんさつ発見カード」に書く活動をしている。	○今まで観察してきたことと同じところや違うところなど、気づいたことをもとに「かんさつ発見カード」を書いている。
「言葉のなかまさがしゲーム」をしよう	2	○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○「言葉のなかまさがしゲーム」をすることで、言葉はさまざまな仲間に分かれることを理解するとともに、語彙を豊かにしようとする。	○同じ仲間の言葉を集めることで語句の量を増やし、「言葉のなかまさがしゲーム」をすることで、語彙を豊かにしている。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。		○「言葉のなかまさがしゲーム」をすることで、言葉はさまざまな仲間に分かれることを理解するとともに、語彙を豊かにしている。

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

じゅんじょを考えて話しましょう。	5	○姿勢や口形, 発声や発音に注意して話すことができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○相手に伝わるように, 行動したことや経験したことに基づいて, 話す事柄の順序を考えることができる。 ○報告など伝えたいことを話したり, それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動ができる。 ○夏休みのできごとやしたことを, 友達との練習をもとに, 順序を考えて話そうとする。	○クラスの人々にはっきり伝わるように, 姿勢や口形, 発声や発音に注意して話している。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	○相手に伝わるように, 夏休みのできごとやしたことに基づいて, 話す事柄の順序を考えている。 ○夏休みのできごとやしたことを話したり, それらを聞いて感想を述べたりする活動をしている。	○夏休みのできごとやしたことを, 友達との練習をもとに, 順序を考えて話そうとしている。
漢字のひろば ③	2	○第2学年までに配当されている漢字を読むことや, 文や文章の中で使うことができる。 ○熟語の組み立てと意味が理解できる。 ○熟語の組み立てと意味を理解し, いろいろな熟語を集めたり作ったりして, 文の中で正しく使おうとする。	○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。 ○熟語の組み立てと意味を理解して, 文の中で正しく使っている。		○熟語の組み立てと意味を理解し, いろいろな熟語を集めたり作ったりして, 文の中で正しく使っている。

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

漢字のひろば ③	2	○第1学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 ○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。 ○語と語や文と文との続き方に注意しながら、広場の様子がわかるように書き表し方を工夫することができる。 ○絵の中の言葉を使って、広場の様子を書く活動ができる。 ○98ページの絵の中の言葉と1年生で学んだ漢字をもとに、広場の様子を具体的に書こうとする。	○主語と述語との関係に注意して文を書いている。	○語と語や文と文との続き方に注意しながら、広場の様子がわかるように書き表し方を工夫している。 ○絵の中の言葉を使って、広場の様子を書いている。	○98ページの絵の中の言葉と1年生で学んだ漢字をもとに、広場の様子を具体的に書いている。
----------	---	--	--------------------------------	---	---

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

五 したことや言ったことから、登場人物の考えを読もう	12	○言葉には、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。 ○文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。 ○物語などを読み、内容や感想などを伝え合う活動ができる。 ○自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。 ○文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりがわかるように書き表し方を工夫することができる。 ○手紙を書くなど、感じたことや想像したことを書く活動ができる。 ○場面の移り変わりとともに変わっていくおにの子の様子や気持ちを想像しながら読み、登場人物に手紙を書こうとする。	○言葉には、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	○初めと終わりの場面を比べて、わにのおじいさんやおにの子の行動を具体的に想像している。 ○おにの子がどのような人物か、自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 ○「わにのおじいさんのたからもの」を読み、内容や感想などを伝え合っている。 ○自分の思いや考えが明確になるように、話し合ったことをもとにした手紙の簡単な構成を考えている。 ○文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりがわかるように手紙の書き表し方を工夫している。 ○人物像を考えたり手紙を書いたり、感じたことや想像したことを書く活動をしている。	○初めと終わりの場面を比べ、どんなことがあったのか確かめている。 ○わにのおじいさんとおにの子、それぞれにとって「たからもの」は何か、考えている。 ○場面の移り変わりとともに変わっていくおにの子の様子や気持ちを想像しながら読み、登場人物に手紙を書いている。
-----------------------------------	-----------	---	--	---	---

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

はんたいのいみの言葉, にたいみの言葉	2	○言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき, 語彙を豊かにすることができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○反対の意味の言葉や似た意味の言葉を調べ, 気づいたことを話し合おうとする。	○言葉には, 反対の意味や似た意味による語句のまとまりがあることに気づき, 語彙を豊かにしている。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。		○反対の意味の言葉や似た意味の言葉を調べ, 気づいたことを話し合っている。
---------------------	---	--	--	--	---------------------------------------

六 まとまりを考えて書こう	11	○長音, 拗音, 促音, 撥音などの表記, 助詞の「は」, 「へ」及び「を」の使い方, 句読点の打ち方, かぎ(「 」)の使い方を理解して文章の中で使うことができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○自分の思いや考えが明確になるように, 事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。 ○文と文との続き方に注意しながら, 内容のまとまりがわかるように書き表し方を工夫することができる。 ○文章を読み返す習慣を付けるとともに, 間違いを正したり, 文と文との続き方を確かめたりすることができる。 ○身近なことを報告したり, 観察したことを記録したりするなど, 見聞きしたことを書く活動ができる。 ○見たことや調べたことをメモに書き, メモをもとにしてみんなに伝える文章を読み返しながら書いている。	○長音, 拗音, 促音, 撥音などの表記, 助詞の「は」, 「へ」及び「を」の使い方, 句読点の打ち方, かぎ(「 」)の使い方を理解して文章の中で使っている。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	○町の「すてき」を伝えるために, 探検した事柄に沿って簡単な構成を考えている。 ○文と文との続き方に注意しながら, 探検したことがわかるように, 順序に気をつけて書き表し方を工夫している。 ○文章を読み返す習慣を付けるとともに, 間違いを正したり, 文と文との続き方を確かめたりしている。 ○町の「すてき」を報告したり, 観察したことをメモしたりするなど, 見聞きしたことを書く活動をしている。	○「町たんけん」でわかったことを, メモに書いている。 ○メモをもとに, 組み立てを考えている。 ○見たことや調べたことをメモに書き, メモをもとにしてみんなに伝える文章を読み返しながら書いている。
---------------	----	---	--	---	--

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

七 しゃしんをくらべて、考えよう	2	○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。 ○時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。 ○文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。 ○図鑑や科学的なことについての写真などを見て、わかったことなどを説明する活動ができる。 ○自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。 ○簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動ができる。 ○2枚の写真の間に何が起こったか、文章に書いて、話し合おう	○2枚の写真を見比べて、共通、相違、事柄の順序などの関係について理解している。	○2枚の写真の時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 ○2枚の写真と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 ○図鑑や科学的なことについての写真などを見て、わかったことなどを説明する活動をしている。 ○2枚の写真を比べて気がついたことが明確になるように、簡単な構成を考えている。 ○2枚の写真を比べて、感じたことや想像したことを書く活動をしている。	○2枚の写真の間に何が起こったか、文章に書いて、話し合っている。
------------------	---	--	--	---	---

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

一 じゅんじょや様子に気をつけて読もう	11	○事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。 ○文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。 ○事物の仕組みを説明した文章などを読み、わかったことや考えたことを述べる活動ができる。 ○読んだことから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。 ○紹介や説明など伝えたいことを話したり、それらを聞いて感想を述べたりする活動ができる。 ○さけが大きくなるまでを、時や大きさ・場所を表す言葉などを使い、順序に気をつけてくわしく説明しようとする。	○さけが大きくなるまでを、時や場所とのかかわりを通して理解している。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	○さけが大きくなる様子を確かめるために、時・場所・大きさや様子を表す言葉を選び出している。 ○さけの成長と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 ○さけが大きくなるまでを説明した文章を読み、わかったことや考えたことを述べる活動をしている。 ○さけが大きくなる様子について、わかったことや考えたことを発表し合うために必要な事柄を選んでいる。 ○さけが大きくなる様子を説明したり、それらを聞いて感想を述べたりする活動をしている。	○さけが大きくなるまでを、時や大きさ・場所を表す言葉などを使い、順序に気をつけてくわしく説明している。
----------------------------	-----------	--	--	--	--

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

二 様子をよく見て、くわしく書く	10	○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりがわかるように書き表し方を工夫することができる。 ○文章に対する感想を伝え合い、互いの文章の内容や表現のよいところを見つけることができる。 ○観察したことを記録するなど、見聞きしたことを書く活動ができる。 ○友達に教えてあげたいものの様子を詳しく観察し、その様子が伝わるように書こうとする。	○友達に教えてあげたいものの様子を表す語句の量を増やし、文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしている。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	○文と文との続き方に注意しながら、教えてあげたいものの様子がわかるように書き表し方を工夫している。 ○書いた文章に対する感想を伝え合い、互いの文章の内容や表現のよいところを見つけている。 ○観察したことをメモし、教えてあげたいものの様子が伝わるように書く活動をしている。	○友達に教えてあげたいものの様子を詳しく観察し、その様子が伝わるように書いている。
しを読もう	2	○言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにすることができる。 ○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。 ○詩を読んで、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動ができる。 ○場面の様子を想像しながら、詩を音読することを楽しみ、思ったことを自由に発表し合おうとする。	○言葉には意味による語句のまとまり、想像を広げる働きがあることに気づき、語彙を豊かにしている。	○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 ○「てんとうむし」「木」について、内容や感想などを伝え合ったり、音読したりしている。	○場面の様子を想像しながら、詩を音読することを楽しみ、思ったことを自由に発表し合っている。

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

三 だれが、どのようにかわったかを考えて読もう	7	○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。 ○文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。 ○物語などを読んで、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動ができる。 ○村人や青おにと関わりながら変わっていく赤おにの様子やそのときの気持ちを想像しながら読み、心に残ったところとその訳を書こうとする。	○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて、会話文中心に音読している。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	○場面の移り変わりに着目して、赤おにや青おにの行動や心情を具体的に想像している。 ○赤おにや青おにの行動と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 ○このお話を読んで、内容や感想などを伝え合ったり、音読したりする活動をしている。	○主な登場人物とできごとを確かめている。 ○お話の中で、赤おにが変わったところはどこか考えている。 ○村人や青おにと関わりながら変わっていく赤おにの様子やそのときの気持ちを想像しながら読み、心に残ったところとその訳を書こうとしている。
三 だれが、どのようにかわったかを考えて読もう	5	○読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。 ○文章を読んで感じたことやわかったことを共有することができる。 ○学校図書館などを利用し、気に入った本などを読み、わかったことなどを説明する活動ができる。 ○本の紹介の仕方を工夫し、「お話びじゅつかん」を作り、本を紹介し合おうとする。	○読書に親しみ、「お話びじゅつかん」を通して、いろいろな本があることを理解している。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	○気に入った本を読み、自分の体験とを結び付けて感想をもっている。 ○「お話びじゅつかん」で本を紹介し合い、感じたことやわかったことを共有している。 ○学校図書館などを利用し、気に入った本などを読み、わかったことなどを絵とカードにかく活動をしている。	○本の紹介の仕方を工夫し、「お話びじゅつかん」を作り、本を紹介し合っている。

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

四 しつもんしたり答えたりして、話し合おう	8	○共通、相違など情報と情報との関係について理解することができる。 ○互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつなぐことができる。 ○尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合う活動ができる。 ○「クラスお楽しみ会」を開くために、グループで話し合っ「やりたいあそび」をまとめ、クラスみんなに伝えようとする。	○共通点や相違点など、やりた遊びに対するそれぞれの理由をについて理解している。	○互いの意見に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつないでいる。 ○尋ねたり応答したりするなどして、グループで話し合う活動をしている。	○「クラスお楽しみ会」を開くために、グループで話し合っ「やりたいあそび」をまとめ、クラスみんなに伝えている。
心がうごいたことを書きましよう。	5	○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。 ○語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりがわかるように書き表し方を工夫することができる。 ○心が動いたことを短い言葉で書くなど、思ったことや伝えたいことを書く活動ができる。 ○心が動いたことを「みじかい言葉」で書き、友達と読み合おうとする。	○言葉には、心が動いた時に見たこと、したこと、感じたことを、短い言葉で伝える働きがあることに気づいている。	○語と語や文と文との続き方に注意しながら、見たことをそのまま書いたり、何かになりきったりするなど書き表し方を工夫している。 ○心が動いたことを短い言葉で書くなど、思ったことや伝えたいことを書く活動をしている。	○心が動いたことを「みじかい言葉」で書き、友達と読み合っている。

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

漢字の広場 ④	2	○第2学年までに配当されている漢字を読むことや、文や文章の中で使うことができる。 ○送り仮名によって漢字の読み方や意味が変わることを理解することができる。 ○漢字には、読み方が変わると意味が変わるものがあり、また、送り仮名は漢字の読み方や意味をはっきりさせることを理解し、文や文章で使おうとする。	○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。 ○送り仮名によって読み方や意味が変わる漢字があることを理解している。	○漢字には、読み方が変わると意味が変わるものがあり、また、送り仮名は漢字の読み方や意味をはっきりさせることを理解し、文や文章で使っている。
---------	---	---	--	--

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

漢字の広場 ④	2	○第1学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 ○語と語や文と文との続き方に注意しながら、部屋の中の様子の書き表し方を工夫することができる。 ○絵の中の言葉を使って、感じたことや想像したことを書く活動ができる。 ○58ページの絵の中の言葉と1年生で学んだ漢字をもとに、部屋の中の様子を書こうとする。	○1年生で習った漢字を使って、文や文章を書いている。	○語と語や文と文との続き方に注意しながら、部屋の中の様子がわかるように書き表し方を工夫している。 ○絵の中の言葉を使って、感じたことや想像したことを書いている。	○58ページの絵の中の言葉と1年生で学んだ漢字をもとに、部屋の中の様子を具体的に書いている。
---------	---	---	-----------------------------------	--	---

五 わかりやすくせつめいするための、工夫をたしかめよう	12	○言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。 ○文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。 ○事物の仕組みを説明した文章を読み、わかったことや考えたことを述べる活動ができる。 ○経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、伝えたいことを明確にすることができる。 ○自分の思いや考えが明確になるように、簡単な構成を考えることができる。 ○文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりがわかるように書き表し方を工夫することができる。 ○身近なことや経験したことをもとに、話を書く活動ができる。 ○「しかけ絵本」をどのように作るか、作る順序を確かめながら読み、世界に1つしかない自分の「しかけ絵本」を作ろうとする。	○言葉には、「しかけ絵本」の作り方を説明するなど、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	○「しかけ絵本」の順序に気をつけながら読み、内容の大体を捉えている。 ○「しかけ絵本」の作り方を示す重要な語や文を選び出している。 ○「しかけ絵本」の作り方を説明した文章を読み、わかりやすくするためにどのような工夫があるか話し合っている。 ○65ページを手掛かりに、書くことを見つけ、わかりやすい「しかけ絵本」を作っている。 ○自分の思いや考えが明確になるように、「しかけ絵本」のための簡単な構成を考えている。 ○文と文との続き方に注意しながら、わかりやすい話になるように書き表し方を工夫している。 ○身近なことや経験したことをもとに、「しかけ絵本」の話を書く活動をしている。	○「しかけ絵本」の作り方を確かめている。 ○「しかけ絵本」ができるまでに気をつけることを表にまとめている。 ○「しかけ絵本」をどのように作るか、作る順序を確かめながら読み、世界に1つしかない自分の「しかけ絵本」を作っている。
------------------------------------	-----------	---	---	---	---

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

五 わかりやすくせつめいするための、工夫をたしかめよう	7	○事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。 ○文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりがわかるように書き表し方を工夫することができる。 ○文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、文と文との続き方を確かめたりすることができる。 ○経験したことを報告するなど、見聞きしたこと書く活動ができる。 ○おもちゃの作り方や遊び方を、順序を考えながら説明書に書こうとする。	○事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	○作り方の順序に注意しながら、内容のまとまりがわかるように書き表し方を工夫している。 ○文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、文と文との続き方を確かめたりしている。 ○おもちゃの作り方や遊び方など、見たり・したりしたこと書く活動をしている。	○おもちゃの作り方や遊び方を、順序を考えながら説明書に書いている。
しを読もう	2	○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読し、語彙を豊かにすることができる。 ○詩を読んで想像したことや感じたことを共有することができる。 ○詩を読んで、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動ができる。 ○詩を読み、言葉のリズムや響きを味わい、イメージの広がりを楽しもうとする。	○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読し、語彙を豊かにしている。	○詩を読んで想像したことや感じたことを共有している。 ○「せかいじゅうの海が」について、内容や感想などを伝え合ったり、音読したりしている。	○詩を読み、言葉のリズムや響きを味わい、イメージの広がりを楽しんでいる。

六 場面や人物の様子をくわしく読もう	11	○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。 ○文章を読んで感じたことやわかったことを共有することができる。 ○物語などを読んで、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動ができる。 ○伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫することができる。 ○話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。 ○紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて感想を述べたりする活動ができる。 ○場面の様子や、じいさまとばあさまの行動や心情を思いうかべながら読み、役割をきめて音読発表会をしようとする。	○会話や情景を中心に言葉の響きなどに気をつけて音読している。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	○場面の様子に着目して、じいさま・ばあさまの行動や心情を具体的に想像している。 ○場面の様子に着目して、じいさま・ばあさまの行動や心情を具体的に想像している。 ○「かさこじぞう」を読んで感じたことやわかったことを共有している。 ○物語などを読んで、内容や感想などを伝え合ったり、音読劇をしたりする活動をしている。 ○音読劇をするとき、じいさま・ばあさまなどの行動や心情に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。 ○ほかのグループの音読劇を集中して聞き、劇の内容を捉えて感想をもっている。 ○人物像や好きな場面を紹介したり、それらを聞いて感想を述べたりする活動をしている。	○お話のできごとをまとめ、何が変わったのか考えている。 ○じぞうさまは、なぜ、いろいろなものをじいさま・ばあさまに持っていったのか、紹介し合っている。 ○場面の様子や、じいさまとばあさまの行動や心情を思いうかべながら読み、役割をきめて音読発表会をしようとする。
---------------------------	-----------	---	---	--	---

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

むかしからつたわるかるたを楽しみましょう。	3	○長く親しまれている正月遊びを通して、言葉の豊かさに気づくことができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○自分たちのいる地域のかるたを探したり、グループでかるたを作ったりして楽しもうとする。	○昔から長く親しまれているかるた遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。		○自分たちのいる地域のかるたを探したり、グループでかるたを作ったりして楽しんでいる。
じゅんじょに気をつけて話しましょう。	4	○姿勢や口形、発声や発音に注意して話することができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○相手に伝わるように、調べたことごとに基づいて、話す事柄の順序を考えることができる。 ○紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて感想を述べたりする活動ができる。 ○新しく知った「むかしのあそび」を調べ、順序に気をつけてわかりやすく説明しようとする。	○姿勢や口形、発声や発音に注意して、わかりやすく話している。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	○「むかしのあそび」について調べたことを、相手にわかりやすく伝わるように、話す事柄の順序を考えている。 ○「むかしのあそび」についての説明をしたり、それらを聞いて感想を述べたりしている。	○新しく知った「むかしのあそび」を調べ、順序に気をつけてわかりやすく説明している。

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

主語とじゅつ語	3	○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○主語と述語の関係を理解し、文を読むときや書くときに、主語・述語に注意しようとする。	○文の中における主語と述語との関係に気づいている。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。		○主語と述語の関係を理解し、主語・述語に注意して文を読んだり書いたりしている。
漢字の広場 ⑤	2	○第2学年までに配当されている漢字を読むことや、文や文章の中で使うことができる。 ○読み方は同じでも意味や使い方が違う漢字があることを理解することができる。 ○同じ読み方の漢字があることを知り、意味や使い方を考えて、語や文の中で正しく書いたり使ったりしようとする。	○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。 ○読み方は同じでも意味や使い方が違う漢字があることを理解している。		○同じ読み方の漢字があることを知り、意味や使い方を考えて、語や文の中で正しく書いたり使ったりしている。

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

七 じゅんじょに気をつけて書く	13	○長音, 拗音, 促音, 撥音などの表記, 助詞の「は」, 「へ」及び「を」の使い方, 句読点の打ち方, かぎ(「 」)の使い方を理解して文や文章の中で使うことができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○文と文との続き方に注意しながら, できごとの順序を考えて書き表し方を工夫することができる。 ○文章を読み返す習慣を付けるとともに, 間違いを正したり, 文と文との続き方を確かめたりすることができる。 ○文章に対する感想を伝え合い, 文章の内容や表現のよいところを見つけることができる。 ○身近なことや経験したことを報告するなど, 見聞きしたことを書く活動ができる。 ○2年生になって新しくできるようになったことを作文に書き, 友達と読み合って感想を伝え合おうとする。	○長音, 拗音, 促音, 撥音などの表記, 助詞の「は」, 「へ」及び「を」の使い方, 句読点の打ち方, かぎ(「 」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	○文と文との続き方に注意しながら, できごとの順序を考えて書き表し方を工夫している。 ○文章を読み返す習慣を付けるとともに, 間違いを正したり, 文と文との続き方を確かめたりしている。 ○文章に対する感想を伝え合い, お互いの文章の内容や表現のよいところを見つけている。 ○2年生になってできるようになったことなど, 見聞きしたことを書く活動をしている。	○書くことについて, よく思い出して, メモに書き出している。 ○メモをもとに順序を確かめ, 文章の組み立てを考えている。 ○2年生になって新しくできるようになったことを作文に書き, 友達と読み合って感想を伝え合っている。
-----------------	----	---	--	---	--

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

音や様子をあらわす言葉	3	○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにすることができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○音や様子を表す言葉の書き表し方や語感の違いを知り、正しい使い方を理解しようとする。	○身近なことを表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、言葉には音や様子を表すものがあることに気づき、語彙を豊かにしている。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。		○音や様子を表す言葉の書き表し方や語感の違いを知り、正しい使い方を理解している。
漢字の広場 ⑥	2	○第2学年までに配当されている漢字を読むことや、文や文章の中で使うことができる。 ○漢字には、別の漢字を組み合わせた字や同じ部分をもつ字があることを理解することができる。 ○漢字の組み合わせと、同じ部分をもつ漢字を理解し、正しく読んだり書いたりしようとする。	○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。 ○漢字には、別の漢字を組み合わせた字や同じ部分をもつ字があることを理解している。		○漢字の組み合わせと、同じ部分をもつ漢字を理解し、正しく読んだり書いたりしている。

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

漢字の広場 ⑥	2	○第1学年までに配当されている漢字を書き, 文や文章の中で使うことができる。 ○語と語や文と文との続き方に注意しながら, 絵にかかれている様子の書き表し方を工夫することができる。 ○絵の中の言葉を使って, 感じたことや想像したことを書く活動ができる。 ○114ページの絵の中の言葉と1年生で学んだ漢字をもとに, 絵にかかれている様子を書こうとする。	○1年生で習った漢字を使って, 文や文章を書いている。	○語と語や文と文との続き方に注意しながら, 絵にかかれている様子がわかるように書き表し方を工夫している。 ○絵の中の言葉を使って, 感じたことや想像したことを書いている。	○114ページの絵の中の言葉と1年生で学んだ漢字をもとに, 絵にかかれている様子を具体的に書いている。
---------	---	--	------------------------------------	---	--

八 場面の様子や登場人物の行動に気をつけて読もう	16	○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。 ○文章を読んで感じたことやわかったことを共有することができる。 ○物語などを読んで、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動ができる。 ○自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。 ○身近なことや経験したことを報告するなど、見聞きしたことを書く活動ができる。 ○命ある生き物とおもちゃ、その2匹のねずみの様子や気持ちの変化を想像しながら読み、心に残ったところやあらすじをまとめて、お話を紹介する文章を書こうとする。	○言葉には、事物の内容を表す働きや、読んで心に残ったことを伝える働きがあることに気づいている。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	○アレクサンダが考えを変えたことと自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 ○登場人物と主なできごとについて、感じたことやわかったことを共有している。 ○物語を読んで、内容や感想などを伝え合ったり、紹介し合ったりする活動をしている。 ○自分の思いが明確になるように、このお話を紹介するための簡単な構成を考えている。 ○心に残ったところやあらすじをまとめて、お話を紹介する文章を書く活動をしている。	○登場人物と主なできごとを確かめている。 ○アレクサンダは、いつ自分の考えを変えたのか、また、なぜ変えたのか話し合っている。 ○命ある生き物とおもちゃ、その二匹のねずみの様子や気持ちの変化を想像しながら読み、心に残ったところやあらすじをまとめて、お話を紹介する文章を書いている。
---------------------------------	-----------	--	---	---	--

国語の学習	2	○文の中における主語と述語との関係に気づくなど、この一年の国語学習で学んだことに注意して書くことができる。 ○この1年間をふり返り、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。 ○紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動ができる。 ○この1年間をふり返り、経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。 ○これまでの学習をまとめ、身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動ができる。 ○この1年間の国語の学習をふり返りながら、これからの学習でどんな活動をしてみたいかを話し合おうとする。	○文の中における主語と述語との関係に気づくなど、この一年の国語学習で学んだことに注意して書いている。	○この1年間をふり返り、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。 ○紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動をしている。 ○この1年間をふり返り、経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。 ○これまでの学習をまとめ、身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動をしている。	○この1年間の国語の学習をふり返りながら、これからの学習でどんな活動をしてみたいかを話し合っている。
--------------	----------	--	---	---	---